



表紙・目次・『現代人間学・人間存在論研究』編集規程・執筆者・奥付・裏表紙

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/16203

現代人間学・人間存在論研究

第 1 期

第 2 号

特
集

人間をふちどることについて

上柿崇英

“人間”の存在論的基盤としての〈環境〉の構造と〈生〉の三契機
—環境哲学と〈生〉の分析からのアプローチ

増田敬祐

環境と存在
—人間の学としての人間存在論のための試論

吉田健彦

粘土板から石英ストレージへ
—無限と永遠を問い得る場についての存在論的／メディア論的分析

現代人間学・人間存在論研究

第 1 期 第 2 号

特 集

人間をふちどることについて

大阪府立大学 環境哲学・人間学研究所

現代人間学・人間存在論研究部会

現代人間学・人間存在論研究 第一期 第二号

目次

『現代人間学・人間存在論研究』発刊によせて（再録）

1

『現代人間学・人間存在論研究』第二号のための序

上柿崇英

5

特集 人間をふちどることについて

“人間”の存在論的基盤としての〈環境〉の構造と〈生〉の三契機

—環境哲学と〈生〉の分析からのアプローチ

上柿崇英

7

1. はじめに―「理念なき時代」における〈生の自己完結化〉と〈生の脱身体化〉
2. 人間存在と〈環境〉
3. 人類史的観点における「人間的〈環境〉」の構造転換
4. 「人間的〈生〉」と「〈生〉の三契機」
5. 〈生〉を变容させる〈社会的装置〉とは何か
6. おわりに

環境と存在

増田敬祐

―人間の学としての人間存在論のための試論

- はじめに
1. 現代に問われる「きょうどう」という難問
 2. 環境とは何か
 3. 環境倫理学における人間存在の把握の方法論的展開
 4. 動態による再帰的理解
- おわりに

粘土板から石英ストレージへ

吉田健彦

―無限と永遠を問い得る場についての存在論的／メディア論的分析

- はじめに
1. フレームワークの構築
 2. デジタル化とその属性
 3. 世俗的造物主
- おわりに

『現代人間学・人間存在論研究』編集規程

平成二九年三月五日制定

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪府立大学環境哲学・人間学研究所（以下、本研究所という）に所属する現代人間学・人間存在論研究部会（以下、本研究部会という）が刊行する『現代人間学・人間存在論研究』（以下、本誌という）の編集及び刊行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(刊行の目的)

第2条 本誌は、本研究部会における教育研究の推進および成果の公表を目的として刊行される。

(編集)

第3条 本誌の企画、原稿募集、編集、発行は、『現代人間学・人間存在論研究』編集委員会によって行われる。編集委員は、本研究所に所属する研究員のなかから選出されるものとする。

(掲載内容)

第4条 本誌には、特集論文、一般研究論文、研究ノートのカラムを設ける。

2 特集論文では、執筆者による相互批評を行い、精度の向上を図る。一般研究論文および研究ノ

ートでは、当該分野に精通した査読者によるピアレビューを実施する。その際の査読者の選任は編集委員会が行う。

3 ただし第一期については、特集論文のみとする。

(投稿資格)

第5条 本誌の投稿資格者は、以下の者とする。

(1) 本研究部会に所属の研究員

(2) 編集委員会が認めた者

(著作権)

第6条 本誌に掲載された著作物の著作権は本研究部会に帰属するものとする。

附則

本規程は平成二九年三月三〇日から施行する。

執筆者

上柿 崇英 (博士 (学術))

一九八〇年生まれ、大阪府立大学現代システム科学域准教授

専門：環境哲学、総合人間学

主著：『環境哲学と人間学の架橋—現代社会における人間の解明』上柿崇英／尾関周二編、世織書房、二〇一五年、『自然といのちの尊さについて考える—エコ・フィロソフィとサステイナビリティ学の展開』竹村牧男／中川光弘監修、岩崎大／関陽子／増田敬祐編、ノンブル社、二〇一五年など

増田 敬祐 (博士 (農学))

一九八〇年生まれ、大阪府立大学環境哲学・人間学研究所客員研究員、茨城大学教務補佐員、東京農工大学非常勤講師

専門：環境倫理学、人間存在論

主著：「和辻倫理学における個と全体の構造—近代的個人概念の超克とその課題—」『比較思想研究』第四三号、二〇一七、『自然といのちの尊さについて考える—エコ・フィロソフィとサステイナビリティ学の展開』竹村牧男／中川光弘監修、岩崎大／関陽子／増田敬祐編、ノンブル社、二〇一五など。

吉田 健彦 (博士 (農学))

一九七三年生まれ、大阪府立大学環境哲学・人間学研究所客員研究員、東京家政大学非常勤講師、東京農工大学非常勤講師

専門：メディア論、環境哲学

主著：「メディアとしての3Dプリンター—世俗的造物主か受苦する人間か」『総合人間学』電子ジャーナル第九号、二〇一五年、『環境哲学と人間学の架橋—現代社会における人間の解明』上柿崇英／尾関周二編、世織書房、二〇一五年など

『現代人間学・人間存在論研究』第一期 第二号

2017年3月31日 初版第一刷発行

ISSN : 2423-9216

発行 大阪府立大学 環境哲学・人間学研究所

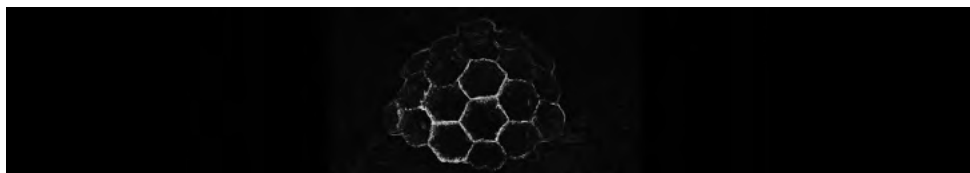
現代人間学・人間存在論研究部会

装丁 吉田健彦

ISSN : 2423-9216

大阪府立大学 環境哲学・人間学研究所

現代人間学・人間存在論研究部会



現代人間学・人間存在論研究

第一期

第二号